

1月 アジア総論

大戦後のアジア経済の潮流



西澤 信善 氏

神戸大学 名誉教授 東亜大学 人間科学部 特任教授
同志社大学 人文科学研究so嘱託研究員

【講師プロフィール】

神戸大学大学院経済学研究科博士課程中退。博士(経済学:名古屋大学) 在ビルマ日本大使館勤務(1977-79)をはじめ、シンガポール、ラオスと海外勤務を経験。神戸大学名誉教授

【専門分野】

アジア経済論・ミャンマーの政治経済

【講演内容】

第2次大戦後から今日に至る時期のアジア経済の発展を概観する。この期間は1990年前後を境にし、前半の冷戦期と後半のポスト冷戦・現代との二つの時期に分けることができる。冷戦を突き崩したのは社会主義国の改革開放政策であり、その結果、中国経済が力強く発展し、いまやアジア経済は同経済を中心に回るようになっている。

2月 中国

中国を視る -都市-



石原 潤 氏

京都大学・名古屋大学・奈良大学 名誉教授 (元奈良大学学長)
【講師プロフィール】

京都大学文学部、同大学院文学研究科修了。名古屋大学文学部助教授・教授、京都大学大学院文学研究科教授、奈良大学文学部教授・同学長を歴任。日本地理学会会長、人文地理学会会長、史学研究会理事長を歴任。現地調査を度々実施。

【専門分野】

人文地理学、中国・インド・ Bangladesh の地域研究

【講演内容】

現在では、中国の都市人口は総人口(約14億人)の半分以上を越え大都市では、超高層ビルが林立し、高速道路や地下鉄が縦横に走り、現代化が顕著である。しかし、都市戸籍が取れない約3億人の出稼ぎ労働者が居ると言われており、住宅の民有化が進んでいるものの、土地は国有のままであり、日本の都市とは大いに異なっている。

3月 ミャンマー

アジアの潮流～ミャンマー経済の変貌



西澤 信善 氏

東亜大学 人間科学部 特任教授
同志社大学 人文科学研究so嘱託研究員

【講師プロフィール】

神戸大学大学院経済学研究科博士課程中退。博士(経済学:名古屋大学) 在ビルマ日本大使館勤務(1977-79)をはじめ、シンガポール、ラオスと海外勤務を経験。神戸大学名誉教授

【専門分野】

アジア経済論、ミャンマーの政治経済

【講演内容】

長年、軍政下の停滞で苦しんだミャンマー経済が2011年の民政移管を契機に急速に変わり始めた。ミャンマーの経済発展の障害となってきたものは西側諸国の経済制裁である。テインセイン政権は民主化の実現でこの制裁を取り除いて発展の道筋をつけた。しかし、スーチー政権になりロヒンジャーの激化で再び困難に直面している。

4月 インド

インドの政治世界における宗教とカースト



清水 学 氏

アジア経済研究所 名誉研究員

【講師プロフィール】

東京大学国際関係論修士。1970年アジア経済研究所入所。インド、エジプトで研究。宇都宮大学、一橋大学、帝京大で教授歴任。

【専門分野】

南西アジア・中央ユーラシア研究

【講演内容】

インドはヒンドゥー教徒が多いのですがイスラム教徒、キリスト教徒、スィック教徒など実に多様な宗教の坩堝です。その共存こそ経済活動を含むインドの生命力ですが、それを脅かす動きが強まっています。他方、不可触民などの被抑圧カーストの地位については、一部で誤解されているように固定されたものではなく、ダイナミックな政治的経済的な変動の渦中にあります。経済成長が注目されているインドですが、逆流・前進を孕みながら進展している社会の視点からその理解を深めたいと思います。

5月 中国

中国を視る -農村-



石原 潤 氏

京都大学・名古屋大学・奈良大学 名誉教授 (元奈良大学学長)
【講師プロフィール】

京都大学文学部、同大学院文学研究科修了。名古屋大学文学部助教授・教授、京都大学大学院文学研究科教授、奈良大学文学部教授・同学長を歴任。日本地理学会会長、人文地理学会会長、史学研究会理事長を歴任。現地調査を度々実施。

【専門分野】

人文地理学、中国・インド・バングラデシュの地域研究

【講演内容】

中国の農家の経営規模は小さく、農家所得も低い。若い夫婦の多くは、都市部に出稼ぎに出ており、老人夫婦やその孫だけが残っている場合が多く、さまざまな社会問題が発生している。政府は、経営規模の拡大や商品作物の導入、観光開発などに力を入れているが、日本と同様、過疎化が進行しており、集落再編成が進められている。

6月 インド

インドの経済成長と都市・農村の変動



岡橋 秀典 氏

奈良大学 文学部教授 広島大学名誉教授
【講師プロフィール】

1980年名古屋大学大学院文学研究科博士課程後期単位修得退学。1989年以来、広島大学のインド地域研究に従事。広島大学勤務時に現代インド研究センターを創設。現在も人間文化研究機構の南アジアの地域研究推進事業に関わる。

【専門分野】

人文地理学、インド地域研究

【講演内容】

インドは1991年に経済自由化に踏み切つて以来急速な経済成長をとげ、世界の注目を集めています。ここでは、その発展のひみつを、人々が暮らす都市と農村の現場から探ります。経済発展を牽引し、急速な繁栄を遂げる大都市(特に首都デリー)と、膨大な数の人々が生活する農村に焦点を当ててその実態を紹介し、今後の課題を検討します。

7月 インド

インドヒマラヤの山岳農村の変容と持続可能性



岡橋 秀典 氏

奈良大学教授 広島大学名誉教授

【講師プロフィール】

1980年名古屋大学大学院文学研究科博士課程後期単位修得退学。1989年以来、広島大学のインド地域研究に従事。広島大学勤務時に現代インド研究センターを創設。現在も人間文化研究機構の南アジアの地域研究推進事業に関わる。

【専門分野】

人文地理学、インド地域研究

【講演内容】

インドは世界の屋根・ヒマラヤ山脈に広大な山岳地域を抱えています。これらの地域は日本の山村同様、アクセスの悪さ、雇用の不足、労働力の流出などの問題に悩まされてきました。近年、インドの経済成長が注目されていますが、果たしてヒマラヤの山岳農村はどのような変化を遂げているのでしょうか。戦後過疎化が進行した日本の山村と比較しながら検討します。

8月 バングラデシュ

バングラデシュの政治の今



佐野 光彦 氏

神戸学院大学 総合リハビリテーション学部

社会リハビリテーション学科 准教授 (法学博士)

【講師プロフィール】

神戸学院大学大学院法学研究科博士後期課程単位修得退学。同大学アジア太平洋研究センター研究員を経て、2018年より現職。国際アジア共同体学会常務理事、日本都市学会常任理事。

【専門分野】

政治学、地域研究(バングラデシュ)、福祉教育

【講演内容】

チャイナ+1として注目されているバングラデシュは、2大政党が拮抗し、選挙時には暴力を伴う激しい衝突を起こしながら、政権交代が繰り返されてきた。しかし、現政権はテロとの戦いとのスローガンのもと、野党殲滅を目指している。そこで、本講座では2018年12月に行われる予定の選挙等を通じて、同国の民主化について皆さんと共に考えてみたい。

9月 バングラデシュ

離陸するバングラデシュ -30年の見聞と実践から



野間 晴雄 氏

関西大学 文学部教

【講師プロフィール】

京都大学文学部、同大学院修士課程修了後、奈良大学、滋賀大学、奈良女子大学を経て、2002年4月から現職。野外歴史地理学会会長。人文地理学会会長。バングラデシュにはJICA専門家(農村開発)として家族で1994~1996年ダッカに滞在。

【専門分野】

人文地理学、アジア地域論

【講演内容】

1986年秋に初めてバングラデシュを訪問。JICAの専門家としてベンガル低地の開発史から農村開発モデルの実践に関わる。家族で1年半滞在し出会ったダッカ大学卒業生の博士論文を2016年に日本で指導し、再び彼の地を考える。この間、人口は1.7倍に。急激な経済成長で洪水、絶対的貧困、稲作とジャートの国のイメージは大きく変化。その今を見通したい。

10月 マレーシア

マレーシアの人口政策と教育



平戸 幹夫 氏

拓殖大学 名誉教授

【講師プロフィール】

東京大学理学部地学科卒業。同大学地理学博士課程科目取得退学。文部省アジア諸国派遣留学生マレーシアマラヤ大学留学、東南アジア青年の船第5回日本ナショナルリーダーマレーシア国パハン州入植村等調査。1982年拓殖大学教授、2012年拓殖大学名誉教授。

【専門分野】

人文地理学・経済地理学

【講演内容】

マレーシアの人口政策は1980年代、人口抑制的な家族計画を推進する国家家族計画庁から母子健康を進める国家人口家族開発庁へと再編し、2070年には人口置換水準に達して7,000万人を想定。人口政策は種族により異なる。教育は英国のシステムが原型。公立高等教育機関はマレー語、私立校は英語。

11月 韓国

朝鮮時代の地図に描かれた日本



山田 正浩 氏

愛知県立大学名誉教授

【講師プロフィール】

京都大学大学院文学研究科修士課程修了。金沢大学助手、愛知県立大学講師～教授、奈良大学教授を歴任。1985年1月から1年間、ソウル大学客員研究員。

【専門分野】

歴史地理学(朝鮮半島の歴史、地理)

【講演内容】

朝鮮時代、とくに後期には多くの地図が作成され、現在に伝わっている。その中には日本が描かれたものも多くある。世界地図の中に描かれたもの、日本のみを対象として描かれたもの、九州、対馬など日本の一部を詳しく描いたものなどである。琉球を対象とした地図もある。これらの中から今回は2種を選んで紹介する

12月 アジア総論

アジアの過去と未来・光と影

-アジア市民大学開学一年の展望



實 清隆 氏

JAFSアジア市民大学学長 奈良大学名誉教授

【講師プロフィール】

奈良大学名誉教授。東京大学博士課程修了、学術博士。北海道大学・富山大学・奈良大学・帝塚山大学、近畿都市学会会長、日本地理学会評議員・代議員などを歴任。

主著:『都市計画へのアプローチ』、『21世紀の都市像』『大学テキスト人文地理学』ほか、以上 古今書院。

【専門分野】

人文地理学。研究テーマは都市計画・都市政策、世界地誌。

【講演内容】

アジアは「産業革命」まで世界をリードし輝いていた。その後、植民地化されたが、近年、なお、貧困・環境問題など課題を抱えつつも経済的にも大きく躍進し、再び「復権」の兆しが見えてきた。当講義では、アジア市民大学が発足して一年、その成果を振り返るなかで、アジアが未来で果たす役割について展望する。